



小中学生による建設工事風景図画作品

筑西市立竹島小学校／霜田 湊真さんの作品

へ
主
な
内
容
▽

- ▼ 茨城県ボランティア基金に寄付金贈呈
- ▼ 建女ひばり会がオンラインイベント
- ▼ 4支部が「道の日」清掃活動
- ▼ 建災防県支部の下半期講習会日程

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

茨城県災害ボランティア活動支援基金に寄付 「地域を守る」使命果たす

本会は8月17日、茨城県災害ボランティア活動支援基金へ寄付金100万円を贈呈しました。県庁で行われた贈呈式で石津健光会長は「今後起こり得る災害に備えなければいけません。災害時に地域を守ることは我々の使命です」とあいさつ。大井川和彦知事からは「ボランティア活動支援基金への寄付は、ありがたいことです」と感謝の意が伝えられました。



石津会長（左）が大井川知事（右）に
目録を手渡しました



寄付に対して感謝状が贈られました

茨城県災害ボランティア活動支援基金は、災害が発生した時に被災者支援活動を行う災害ボランティア活動を支援するため、今年4月に設置されました。

本会では基金の趣旨に賛同し、寄付することになりました。

寄付金は、災害時にボランティア活動を行う人

が使用するスコップの購入や人の移動などに活用されます。

本会ではこれまでに、東日本大震災への寄付金として1,000万円を、新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄付金として100万円をそれぞれ寄贈するなど、県政の発展に尽力しています。

◆◆◆ 茨城県災害ボランティア活動支援基金の使い道 ◆◆◆

◆資機材の調達

災害ボランティアが使用するスコップや一輪車、高圧洗浄機の購入など

◆移動手段の確保

災害ボランティアを作業現場に送迎するための自動車やバスのリースなど

◆災害ボランティアの円滑な活動に資するシステムの構築

災害ボランティアと被災者のニーズのマッチングに効果的なシステムの構築など

小中学生に橋梁点検を説明

建女ひばり会



本会の女性部会「建女ひばり会」（柳瀬香織会長）は8月18日、石岡市や土木技術者女性の会東日本支部（小林千佳支部長）と共に、「夏休み！ドボジョと橋をみてみよう♪ in いしおか」をオンライン方式で開催。小中学生9人が聴講し、橋梁の構造や点検方法を教えました。そのほか（仮称）上曽トンネル工事の現場見学も行いました。

現場代理人 スキルアップセミナーを開催



本会は、茨城県土木施工管理技士会との共催による現場代理人を対象としたスキルアップセミナーを7月16日と17日、8月3日と4日に水戸市と土浦市で開催。現場代理人が果たすべき役割やマネジメント、働き方改革への対応、現場のコストダウンのポイント、工事成績向上法、現場代理人のリーダーシップやコミュニケーションの大切さなどを研修しました。

令和3年度

茨城県技術者表彰受賞者（8月表彰分）

※受賞者(企業名)

【企業局長表彰】

- ◆小山孝道（森新建設㈱）

【水道事務所長表彰】

- ◆伊東和慶（㈱伊東建設）
- ◆大越淳（正栄工業㈱）
- ◆角屋一允（㈱柴山土建）
- ◆勝田俊行（北都建設工業㈱）
- ◆鈴木義信（㈱アレスコ）
- ◆手塚俊雄（㈱田口工務店）
- ◆本城賢司（鹿島庭園㈱）

【筑西土木事務所長表彰】

- ◆瀬端正博（森建設㈱）
- ◆谷中貴浩（羽黒石材工業㈱）
- ◆高橋正人（㈱北島土建材）
- ◆小野瀬理人（㈱小倉工務店）
- ◆齋藤友輔（㈱柴建設）
- ◆田崎健（中嶋産業㈱）
- ◆笹口宗成（㈱長谷川興業）
- ◆中島純一（㈱川田建材工業）
- ◆小貫高幸（小貫建設㈱）
- ◆工藤裕（大和土建㈱）
- ◆市村靖夫（保安産業㈱）
- ◆川田秀樹（㈱川田建材工業）
- ◆大和田清司（飯田建設興業㈱）

【境工事事務所長表彰】

- ◆鈴木徳夫（小沢道路㈱）
- ◆知久陽平（森田建設工業㈱）
- ◆野口雅彦（㈱中村組）
- ◆関根隆幸（山下工業㈱）
- ◆光山陽平（加藤建設工業㈱）
- ◆飯田幸夫（㈱俊光建設）
- ◆荒川和輝（㈱福島工務店）
- ◆上原健一（㈱新栄開発）
- ◆菊地達也（㈱石塚建設）
- ◆橋本政美（㈱新井建設工業）
- ◆飯田実（㈱菊池工業）
- ◆島田和弘（㈱豊和建設）

水戸支部
活動報告草刈機の
安全対策研修

水戸支部（下田德行支部長）は7月29日と30日、茨城県水戸土木事務所や茨城県造園建設業協会県北支部と工事現場担当技術者研修会を水戸合同庁舎で開催。感染症拡大防止のため2班に分けて実施し、草刈機の安全対策や労働安全衛生法令などを学びました。田口誠壽副支部長は「事故が起こらないように頑張ってもらいたい」と激励しました。

太田支部
活動報告未来協と共に
除草活動

太田支部（瀬谷實支部長）は7月29日、本会の建設未来協議会（鈴木達二会長）と共同で美化活動ボランティアの除草作業を山吹運動公園のテニスコート周辺で実施。炎天下の中、作業に励みました。瀬谷支部長は「感染対策、熱中症に気を付けて取り組んでいただきたい」とあいさつ。除草作業は平成20年から継続して実施しています。

境支部
活動報告電子契約
説明会を開催

境支部（新井孝支部長）は8月10日、茨城県が導入した電子契約の説明会を県境工事事務所で開催。電子契約の概要や電子契約の手続きフロー、電子契約の流れなどの説明を受けました。新井支部長は「ICTやDXなどIT化が進んでいく。段階を踏んで取り組んでほしい。支部としても講習会などで対応していく」と呼び掛けました。

境支部
活動報告未来協が若手
技術者研修会

境支部の建設未来協議会の会員は8月4日、茨城県境工事事務所の若手土木職員との合同研修会を開催。ICT活用現場研修や意見交換を行い、「ICT施工の工法や課題」「建設業のイメージアップ」「技術の伝承」などで意見を交わしました。建設未来協県西地区の青木敏紘幹事は「研修会を役立ててほしい」とあいさつしました。

8月
10日**道の日で道路美化に汗****水戸支部**

8月6日に水戸市、旧内原町、笠間市、小美玉市、茨城町、城里町、大洗町の7地区で作業を実施。約150人がごみを拾い集めました。

大子支部

8月5日、茨城県大子工務所や大子町と協力して実施。支部からは19社96人が参加し、国道118号沿いや国道461号沿いで作業を行いました。

太田支部

8月5日に実施。支部からは21人が参加し、道路の清掃と市内全域のカーブミラー（163基、215枚）の清掃・点検を行いました。

高萩支部

8月4日、茨城県高萩工事事務所（佐竹義人所長）と合同で道路清掃美化活動を実施。高萩地区、日立地区、北茨城地区で、ごみを拾い集めました。

**令和3年度
建設業退職金共済制度加入促進強化月間****令和3年10月1日～令和3年10月31日****建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です**

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
建退共茨城県支部

TEL 029-225-0095 FAX 029-225-1158
<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>

令和3年度下半期の講習会日程

建災防県支部

建設業労働災害防止協会茨城県支部は、令和3年度下半期の各種講習会の日程をまとめました（別表参照）。講習会の問い合わせ・申し込みは建災防県支部（水戸市大町3-1-22茨城県建設センター3階、電話029-300-4638）または支部各分会へお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染症防止対策等により、予定していた講習が変更（中止）になる場合があります。

受講に際しましては、新型コロナウイルス感染症予防対策として、座席の間隔を十分に取ります（2m）が、さらなる予防徹底のため、以下のことにつきましてご協力をお願いします。

- ◆発熱など風邪の症状がある場合は受講を控えてください。
 - ・受講当日、体温測定をさせていただきます（症状によっては受講をお断りすることがあります）。
- ◆会場への入室、受講（休憩中を含む）にあたっては、手指洗い、消毒の徹底、マスク着用をお願いします（マ

スクは自分で準備願います）。

- ◆休憩時間中を含め、他の受講生などと十分な距離を取るようお願いします。
- ◆学科修了試験に使用する鉛筆（シャーペン可、ボールペン不可）、消しゴムの貸し出しはしませんので、必ず持参してください。
- ◆受講生の感染が確認された場合、受講者名簿を保健当局に提供する場合がありますので、ご了承ください。

令和3年度開催予定表（下半期）

月	日	曜日	講習名	会場	備考
10	14	15	木 金	職長・安全衛生責任者	茨城県建設技術研修センター
	19	20	火 水	足場作業主任者	鹿嶋市商工会館
	22		金	施工管理者のための足場点検実務者研修	茨城県建設技術研修センター
	27		水	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター
11	4	5	木 金	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター
	8	9	月 火	コンクリート工作物解体作業主任者	茨城県建設技術研修センター
	12		金	フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設技術研修センター
	16	17	火 水	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部会館
	25		木	職長・安全衛生責任者能力向上教育	石下建設会館
12	7		火	フルハーネス型安全帯特別教育	茨城県建設業協会高萩支部会館
	14	15	火 水	高所作業車の運転	石下建設会館
	16		木		
	21	22	火 水	地山の掘削及び土止め支保工作 主任者	鹿島港湾福祉センター
	23		木		
1	26	27	水 木	職長・安全衛生責任者	鹿嶋勤労文化会館
2	2	3	水 木	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター
	4		金		
	9	10	水 木	職長・安全衛生責任者	茨城県建設技術研修センター
	17	18	木 金	石綿作業主任者	茨城県建設技術研修センター
	24	25	木 金	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター
3	1		火	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター
	10	11	木 金	足場作業主任者	鹿嶋勤労文化会館
	15	16	火 水	地山の掘削及び土止め支保工作 主任者	建荷協研修センター
	17		木		

～茨城労働局からのお知らせ～

解体工事・リフォーム工事を行う 事業者の皆さまへ

石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の改正により、令和3年4月からアスベストに関する規制が強化されています。

一定規模以上（解体工事は床面積80㎡以上、リフォーム工事は請負金額の合計が税込み100万円以上）の工事を行う場合は、石綿の使用の有無に関わらず、建材に石綿が含まれているかどうかを事前に調査し、届け出る義務等が課されました。

さらに令和5年10月からは、この事前の調査は一定の資格を持つ者（各種石綿含有建材調査者、日本アスベスト調査診断協会に登録された者）が行う必要があります。

詳しくは厚生労働省の「石綿総合情報ポータルサイト」でご確認ください。

改正石綿障害予防規則の強化ポイント

【工事前に石綿の有無を調べる事前調査】

- ◆建築物の解体・改修・リフォームなどの工事対象となる全ての材料について、石綿の有無を設計図書等の文書と目視で調査するとともに、調査結果の記録を3年間保存することが義務付け（令和3年4月～）。
- ◆建築物の事前調査は、厚生労働大臣が定める講習を修了した者等が行うことが義務付け（令和5年10月～）。

【工事開始前の労働基準監督署への届出】

- ◆吹付石綿に加え石綿が含まれる保温材等の除去等の工事は、14日前までに労働基準監督署に届け出ることが義務付け（令和3年4月～）。
- ◆一定規模以上の建築物や特定の工作物の解体・改修工事は、事前調査の結果等を電子システムで届け出ることが義務付け（令和4年4月～）。

【吹付石綿・石綿含有保温材等の除去工事】

- ◆除去工事が終わって作業場の隔離を解く前に、資格者による石綿等の取り残しがないことの確認が義務付け（令和3年4月～）。

【石綿含有成形板等・仕上塗材の除去工事】

- ◆石綿が含まれているけい酸カルシウム板第1種を切断、破碎等する工事は、作業場の隔離が義務付け（令和2年10月～）。
- ◆石綿が含まれている成形板等の除去工事は、切断、破碎等によらない方法で行うことが原則義務付け（令和2年10月～）。
- ◆石綿が含まれている仕上塗材をディスクグラインダー等を用いて除去する工事は、作業場の隔離が義務付け（令和3年4月～）。

【写真等による作業の実施状況の記録】

- ◆石綿が含まれている建築物、工作物又は船舶の解体・改修工事は、作業の実施状況を写真等で記録し、3年間保存することが義務付け（令和3年4月～）。

改正内容の
詳細については
こちらのQRコードから
専用ホームページを
ご覧ください。



www.ishiwata.mhlw.go.jp

非常事態宣言 踏まえて

県工事で電子契約など活用を

茨城県土木部では、建設工事における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として電子契約やデジタル技術の積極活用など対策の強化を打ち出しています。詳細は発注者と協議してください。具体的な内容は以下の通りです。

◆電子契約の積極活用

電子契約は土木一式工事で予定価格 3,000 万円以上が対象だが、対象案件以外にも電子契約の対象とする。

◆見積書提出における電子メールの活用

◆余裕期間制度の活用

労働力や資機材の確保に支障を来すおそれがある場合は、余裕期間制度（発注者指定方式及

び任意着手方式）を活用する。

◆工事現場における技術者等の交代

施工中の工事現場で罹患が発生した場合は、一時中止や技術者の交代などの対応を行う。

◆デジタル技術の積極的な活用

情報共有システムや遠隔臨場、WEB会議を積極的に活用するなど、対面機会の削減に努める。

◆専任主任技術者の兼務可能

発注工事において専任の主任技術者が感染した場合や出勤を自粛した場合で交代要員がいないとき、工事を一時中止することなく、他の工事の主任技術者が兼務できる。兼務する場合は事前に発注者に申し出を行い、必要な手続きが必要。

10月・11月は 建設共済保険加入促進月間です



備えることは、
守ること。

安い掛金、手厚い補償。
(特定7歳まで)
建設共済保険

法定外労災
補償制度

働く人の
想いに応える、
安心を。

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業	労働安全衛生推進事業
被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、養育期間および小学校から大学までの在学期間中、経済不安の奨学金を継続して助成。	① 安全衛生用品の配布 ② 女性専用トイレ導入費用に対する助成 ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人
建設業福祉共済団
〒050-0001 東京都港区北沢1-1-1 北沢ビル4F
Tel:03-3581-5451 Fax:03-3581-5474
■ 取扱機関: 各都道府県建設業協会

契約者と業界の発展のために <http://www.kyousaiden.or.jp/> **建設共済保険** **検索**

10月1日～7日 全国労働衛生週間



全国労働衛生週間
向き合おう！
ここからからだの健康管理

2021
10/1～7
準備期間
9/1～30

めぐみめる
生見愛瑠さん

会員の動向

〈代表者変更〉

▽土浦支部

(株)根本興業 根本勘一 → 根本順一